

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	地域活動事業(民間保育所)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	子育て支援課		包含する細々目	1	3	2	5	11	4	3,180
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	21 乳幼児教育の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	次世代育成支援対策交付金交付要綱						
		事業期間	1	年度～	年度	関連計画条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・民間保育所に入所している児童 ・保育所近隣の未就園児	民間保育所入所児童数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			1443			
		未就園児交流参加者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			12636			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
・就学までに基本的な生活習慣が身につく集団生活ができるようにする(社会性を身につける)。	実施園数 / 民間14園 (%)	18目標	100	最終目標	100	
		18実績	92.8	19目標	100	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
	保護者アンケート及び園内評価による習得状況	18目標		最終目標		
		18実績	58.7	19目標		↑
		23目標	65	23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>・この補助事業は、園児及び未就園児が「基本的な生活習慣」及び「社会性」を習得するために、保護者に対して基本的な生活習慣についての働きかけを行うとともに、地域住民等との交流体験により社会性を育もうとするもの。 参考:国の補助制度の趣旨</p> <p>・保育所が多様化する保育需要により積極的に対応するとともに、地域に開かれた社会資源として保育所の有する専門的機能を地域住民のために活用することが要請されていることを鑑み、保育所において特に障害児保育、夜間保育の推進及び保育所等における地域の需要に応じた幅広い活動を推進することにより、児童の福祉の向上を図ることを目的とする。</p> <p>・事業は10種類のメニューに分かれ、飯田市ではその中の異年齢児交流等事業、世代間交流事業、育児講座・育児と仕事両立支援事業等を実施している保育所に対し補助金を交付している。</p> <p>・メニューによって要件や補助金額など様々だが、補助金は各事業の経費として活用されている。</p> <p>・平成17年度から次世代育成支援対策交付金へ組み込まれた。</p>	<p>・老人福祉施設等の訪問、伝承遊び等を通じた地域のお年寄りや園児の世代間交流事業。</p> <p>・児童の社会性を養うための地域の児童と合同による地域行事、ハイキング等の共同活動事業。</p> <p>・地域の乳幼児を持つ保護者等に対する育児講座の開催への補助。</p>	実施園数	14
		<p>・地域の乳幼児(未就園児)をもつ保護者等に対し育児講座等の開催</p> <p>・地域住民等との農業体験や伝承遊びなどの交流体験事業</p>	実施園数	14

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	1,590	1,590
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,590	1,590
	事業費計(A)	3,180	3,180
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	3,323	3,323

特定財源内訳や補足事項	保育所地域活動事業 補助率(国1/2)
-------------	------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	発達段階に応じた健全な育ちができる。	定員数 基本的な生活習慣形成割合(%)	現状値	58.7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	65
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>・地域特性を踏まえ、地域資源を保育に生かすとともに、保育所の有する専門的機能を地域住民のために活用し、児童福祉の向上を図るため。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>・国の補助要件は開始時期からほとんど変更がなく、補助金額のみが減額されているが、保育所では毎年工夫した事業展開を行ってきたため、地域や保護者に定着してきた。 ・将来的には一般財源化されることも考えられる。 ・次期基本構想の重点施策である「乳幼児教育の充実」において「基本的生活習慣の習得 社会性の習得を図りたい」との方向にある。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>・保育所運営の中に定着していて、マイナス面の意見はなく、好印象をもたれている。</p>
---	--	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>・乳幼児の健全な成長及び発達について保護者が学ぶ機会が得られる。 ・園児が地域住民等と交流体験する機会が得られる。</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地がありますか？</p>	<p>(評価) 余地がない (その理由)</p> <p>・十分成果が上がっている。 ・ただし、定型的にならないよう工夫する必要はある。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>・国の補助事業で対象が規定されている。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>・保育所運営の中に定着し、効果的な活動となっている。特に未就園親子とのつながりを弱くすることはできない。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>・入所児童の健全な成長のための幅広い活動ができる。また、未就園児を含む地域とのつながりもでき、見直しの必要はない。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>・事業に必要な経費は、通常保育の運営費外の経費であるため、別途の公的支援が必要である。</p>		<p>効率性 評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>・成果に対し、すでに極めて少額の事業費である。</p>
			<p>公平性 評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>・現在は質素な中に成果を求めており、多くの参加・交流を促すために受益者負担は求めていない。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 </p> <p>実施年度 → 具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>・次期基本構想の重点施策である「乳幼児教育の充実」において「基本的生活習慣の習得 社会性の習得を図りたい」との方向にあるため、全園に対し「育児講座」の実施を義務付けたい。</p>
--	--

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	